

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

February 2014

発行  
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会  
北海道帯広市西23条北2丁目17-6  
株式会社マルハニチロ畜産内

十勝は、一段と寒さが増えています。朝マイナス15℃に達することもシバシバあり、空気はピンと張っている感じです。遠くに連なる日高山脈は雪で真白なのに、稜線は碧くクッキリ見えています。十勝川からは、外気との温度差から水蒸気が沸き起こっています。下流の広々した河口域では、全体が結氷し渡れる状態です。近くの湖沼では、寒さで氷が競り上がる御神渡り(おみわたり)が見られました。十勝全体が、冷凍庫の中に入っている状態です。

1/14当会幹事会研修を行い、シンポジウム総括及び新年度対策を検討しました。暫時、新年度政策等は皆様に報告させていただきます。なお、翌日早朝、マイナス23℃の糠平湖でわかさぎ釣りを敢行しました。朝焼けの静まり返った湖上は何とも言えない神秘的でした。佐藤幹事の適切な指導と、奈良岡監事のビギナーズラックで爆釣でした。



## NEWSばか読み

- 国内乳業会社、中国で飲用乳を拡販  
12/24: メイドインジャパンの信頼性か
- 農林省次年度予算2兆3千億円(1.3%増)  
12/25: 農地集積バンク、減反廃止準備でTPP重点政策
- 北海道農業産出額1兆円強(2012年度)で全国1位  
1/6: 一段と国民の食料庫として責任感
- ビート(砂糖大根)でチップス(倉本聰の発案)発売  
1/6: バイオエタノール生産より北海道お土産に
- 農水 農産物の輸出強化、日本食の魅力発信  
1/8: 和食ブームの波の乗れるか
- コンビニ各社増収1/8: 日本の食習慣これでいいかどうか?
- 豚流行性下痢症(PED)九州各地に拡大  
1/9: 5月以降の出荷頭数に影響
- 素牛セリ市場初セリで各地高値更新  
1/10: モオ~生産コストはどうなるの
- 鳥インフルエンザ患者中国拡大  
1/10: 来た来た~みんな気をつけろ
- 消費の風潮、素材(ソウザイ)より惣菜(ソウザイ)  
1/14: 一字違いでこんなに変わるか

- ファミレス出店攻勢1/16: 外食産業が勢いづいてきた
- 農水 「地表的表示保護制度」法案提出  
1/17: 販促ブランド化が思わぬ足かせに
- 静岡ノロ、給食のパンが原因  
1/22: 人とウイルスとの戦いだ。ディフェンス強化
- 牛白血病拡大の気配、検査強化策  
1/23: 新たな怪物が静々と

## TOPICS

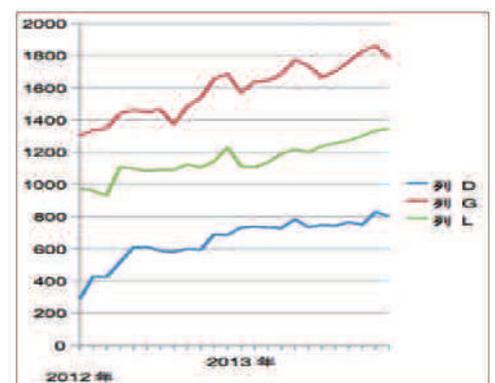
この度、昨年5月に申請をしておりましたe-ビーフの商標が、環境リサイクル牛協議会の商標登録として承認を受けることができました。今後、この商標を、牛肉・牛肉製品に活用してまいります。



## 東京直近NEWS (1/24ShREPORT)

- 12月年末の売上金額は各社とも前年アップ。枝肉の高騰から販売@の値上げが要因。数量、利益ベースでは各社苦戦で前年割れ。年々、年末のイベント雰囲気は薄れ、年始から店が開くため、買い貯め文化も無くなった点大きい。年末は上位部位(肩ロース、ロース)の動きが急激に悪化した。
- 1月は、問屋筋、末端店に年末在庫が少なからずあり、その消化が優先され年始の動きは非常に鈍い。引き続き上位部位の動きは、停滞している状況。一部では既に年始製造玉も投げ価格の噂が出ている。年始枝肉相場はホル@800と高値唱えだが、年末在庫の消化と販売停滞が重なり、厳しい状況が続いている。
- 2月からは若干動き良くなることに期待したいが、上位部位の売れ行き次第。

枝肉相場の推移2012-2013東京食肉市場



e-びーふNewsNo.2の発行ですが、前回の予告を書きます。ニュースは新しい情報が基本ですからスペースのある限り、新しいものを盛り込んでいきます。今回は以前に雑誌にも掲載された培養肉の新聞掲載です。

### 1. 日本畜産学会第116回大会講演要旨

2013.3.28-30 抜粋

昨年3月に日本畜産学会が広島・安田女子大で行われました。総演題数約430のうち肉牛関係は55題程度です。このうち遺伝子解析を含めて大部分は黒毛和種が対象です。肉質関係では短角牛などの話題がありますが、話題の中心は飼料用米の黒毛和種への給与です。粗米給与やWhole Crop Silage利用など形態は多様です。「飼料用モミ米の給与黒毛和種去勢牛の発育・肉質に及ぼす影響」木村修幸ら(全農飼中研) 粉穀微粉碎飼料米を20%配合飼料に代替え、体重800kgまで給与。枝肉単価に差はなく、793千円の販売価格です。

### 2. アメリカ穀物協会・十勝農業協同組合連合会共催DDGSセミナー

2013.7.1 抜粋

ホテル日航ノースランド帯広で開催されました。講演者;阿部亮氏「北海道・十勝の自給飼料の特性と栄養補給、米持千里氏「DDGSの成分栄養価の現状、G.シャーンソン氏「低脂肪DDGSの肉牛と乳牛への飼料価値です。この中で肉牛関係の情報は以下の通りです。トウモロコシのバイオエタノール生産仕向けは肉牛生産者に配合飼料高騰という危機をもたらし、その副産物であるDDGSの飼料利用とコーンサイレージの活用策を刺激しました。DDGSは乳牛には高脂肪(8-12%)が問題視されて、3.5%まで脱脂されるとDM20%までは乳量に影響なく代替え給餌でき、高エネルギー飼養の肉牛では最大40%まで給与可能であったが、脱脂(6.7%)により米国基準でトウモロコシ給与と同等の成績が得られたという。

### 3. リアルの逆襲:「培養肉を食べる日」

日本経済新聞2014.1.12

人造肉の話は2-3年前に米・英国の学術雑誌やその日本語版にも掲載されました。その時は、鶏肉の筋芽細胞の培養と結合組織のマトリックス構造との組み合わせによる横紋筋の合成で収縮も起こりましたが、記者達でこれを食べる者はいなかったとあります。その当時から関心は高かったのに誰がこの研究費を出すかが問題となりました。今回は、オランダのマーストリヒト大学のポスト博士が牛の筋細胞を培養して肉を作りそのハンバーガーの試食会がロンドンでありました。たくさんの希望者がありましたが、1つ3,284万円のコストが掛かっているので記者ではなく専門家の試食になりました。予想外のパサパサ食感で味は変わらないといひます。1950年代の手塚治虫の漫画の予言では、近い将来、そういう肉を食べざるを得ない事態が起きる可能性があるかも知れません。価格は1つ1,000円です。

## 畜産試験場NEWS

### 黒毛和種去勢牛の牧草サイレージ給与による育成と肥育成績 シリーズ ②

資源循環型牛肉生産シンポジウム 地方独立行政法人総合研究機構畜産試験場牛肉グループ 遠藤 哲代

